

第1回例会
代表質問から



会派清新
東元勝己

行政運営の基本姿勢

質問 平成30年の一文字として「明」を掲げられているが、前田市政2期目最終年度の行政運営の基本姿勢について伺う。

答弁 本年の展望を表す一文字として「明」を掲げました。先見の明になぞらえ賢明な判断を行っていきます。将来に負の遺産を残さず、問題を先送りせず、適切な判断をしながら行政運営を行っていきます。また、厳しい財政状況ですが、明るい希望が持てるまちづくりを目指していきます。

企業誘致について

質問 企業誘致を推進するに当たり、現状での企業誘致の課題について伺う。

答弁 昨年、平成6年以来20年ぶりに流通大手企業の誘致が実現し

ましたが、このように短期間で結果が出るものではないので、事業者ニーズの拾い上げと信頼関係の構築が重要であり、その先に企業誘致が実現します。もう一つの課題として滝川管内の有効求人倍率が過去最高の1.26倍を記録し、人手不足が深刻となり、人材確保が重要課題と考えています。

広域観光の推進について

質問 滝川砂川着地型観光推進協議会の現状と今後の方向性、本市の課題などを伺う。

答弁 滝川砂川着地型観光推進協議会は日本版DMOの確立を目指し、昨年4月に設立されました。初年度はアンケート調査やモニターツアーなどを実施し、観光客の動向や地域資源などの分析を行い事業報告会が実施されました。一般社団法人たきかわ観光協会と連携し、協議会事業の中で発掘された美術自然史館や江戸乙の原風景など観光資源となりうる素材を磨き上げ、砂川市と共に優れた観光資源を生かしていきます。今後見込まれる効果については不確定な部分がありますが、協議会に対

しては地域が観光により稼ぐ力をつけるための日本版DMOの組織づくりに向けた取り組みを支援していきます。

男女共同参画推進計画について

質問 男女共同参画推進計画の達成に向けての取り組みについて伺う。

答弁 この度策定した本計画は、平成25年に策定した男女共同参画計画の後期の5か年分重点的に取り組む施策をまとめたものです。理念の一つ就労等の場における男女共同の確保は、女性が職場において活躍でき、育児や介護の支援が整ったまちづくりを進め、男女とも健康で豊かな生活ができるようワークライフバランスの推進に努め、基本理念実現のため働き手と雇用側のマッチングの支援や関連団体との情報共有をしながら、育児や介護などの支援サービスにも取り組んでいきます。

歳入確保について

質問 ふるさと納税事業拡充強化策について伺う。

答弁 平成29年度のふるさと納税

の目標額を達成できたことは、返礼品を出品いただいたりしている市内業者や東京滝川会、さっぽろ滝川会など多くの方々に支えられた結果であります。ふるさと納税の推進に当たっては、滝川市、滝川商工会議所、たきかわ観光協会が構成する滝川市ふるさと発展推進会議で1年間の活動計画などを決定しています。新商品の開発は、通年で出品業者に検討をお願いしつつ、年2回開催する事業者会議で問題点の洗い出しなどを協議しています。

29年度は、ふるさと納税のポータルサイトを増やしたことが寄付額の増加につながったので、30年度も新たなポータルサイトと契約し、寄付しやすい体制を整えることや体験型・宿泊型の返礼品に目を向け、本市の観光資源と食材を活用すること、東京近郊の電車広告やインターネットを活用した広告を検討していること、首都圏PR事業を実施し、本市の宣伝を直接しながらふるさと納税につながる準備を進めます。30年度は目標額を2億円としたことから、多様な手法で目標を達成できるよう努力していきます。